

DIPLOMA 2019

卒業作品集・活動報告



全国専門学校建築教育連絡協議会

CONTENTS

ご挨拶、役員一覧	...01	ポスターデザインコンテスト審査会	...19
専門学校卒業作品展示会	...02	定例総会、教育活動報告・勉強会	...20
卒業作品 作品紹介(16校)	...03	会員校一覧	...21
		協賛	...22

ご挨拶

全国専門学校建築教育連絡協議会は、1995年に発足以来、早や20数年が経ちました。本協議会は、全国28校の会員校にて専門学校の建築教育の質の向上、教育内容の充実、併せて会員校や産業界との連携や交流を図り、活動しております。

全国の会員校は、各校特色のある建築教育、人材育成を長きに渡り取り組んでおります。多くの学校では社会で働くことに必要なビジネス能力、専門知識や技術などに注力し実践的なカリキュラムを用意し、教員・講師も実務経験者が多く、講義・実習および卒業制作などに取り組んでおります。さらには「職業実践専門課程」や産学連携の授業・プロジェクトなど産業界とより密な関係を構築し、職業教育、建築教育に引き続き、邁進して参ります。

この度、本協議会では前年度に続き、卒業作品集、活動記録を冊子にまとめました。個性溢れる専門学校生の卒業制作と本協議会の取り組みをご欄頂けましたら幸いです。

新時代「令和」がスタートいたしました。専門学校の建築教育の更なる充実、発展と次世代を担う人材育成に引き続き、精進して参ります。

最後になりましたが、本協議会へ多くの企業・団体様より格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

全国専門学校建築教育連絡協議会
会長 山野 大星

役員一覧

役 職 名	氏 名	学 校 名	
会 長	山野 大星	日本工学院八王子専門学校	
副 会 長	松田 正之	中央工学校	
幹 事	常任幹事	堤下 隆司	修成建設専門学校
		平上 秀明	中央工学校OSAKA
		宗林 功	大阪工業技術専門学校
		仁多見 透	新潟工科専門学校
		野村 龍明	東海工業専門学校金山校
		白井 雅吾	専門学校東京テクニカルカレッジ
	幹 事	湯淺 康生	岡山理科大学専門学校
		原 真佐也	浅野工学専門学校
		今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校
		小川 貴之	読売理工医療福祉専門学校
		原 智樹	筑波研究学園専門学校
		田中 卓	広島工業大学専門学校
		飯田 有登	町田・デザイン専門学校
事 務 局 (会長校)	見郎 佳朗	修成建設専門学校	
	清水 憲一	日本工学院八王子専門学校	
監 事	三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ	
	新井 長秀	青山製図専門学校	
相 談 役	堀口 一秀	中央工学校	

DIPLOMA 2019

第19回 専門学校卒業作品展示会

会期

2019年6月17日(月) ～ 2019年6月29日(土)

会場

建築会館 1階ギャラリー (東京都港区芝5-26-20)

主催

全国専門学校建築教育連絡協議会

参加校一覧

[茨 城]	筑波研究学園専門学校	[神奈川]	浅野工学専門学校
[東 京]	中央工学校	[新 潟]	新潟工科専門学校
	青山製図専門学校	[愛 知]	東海工業専門学校金山校
	読売理工医療福祉専門学校	[大 阪]	大阪工業技術専門学校
	専門学校東京テクニカルカレッジ		修成建設専門学校
	日本工学院専門学校		中央工学校OSAKA
	日本工学院八王子専門学校	[岡 山]	岡山理科大学専門学校
		[福 岡]	麻生建築&デザイン専門学校



岡山理科大学 専門 学校
建築学科
野上彩乃

十字路に緑



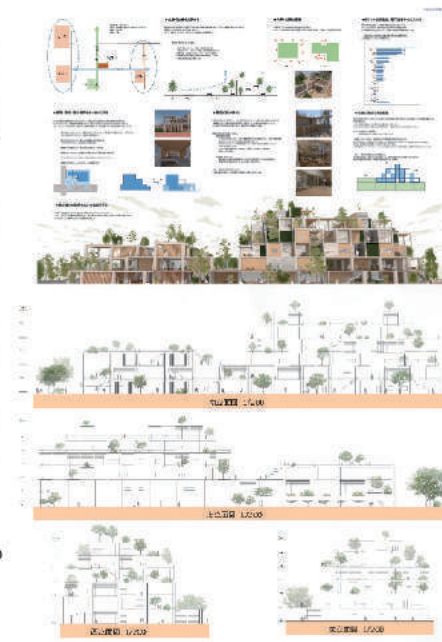
児島地域は、瀬戸内海の雄大な景観、豊かな海産物・世界ブランドのジーンズ・江戸時代の港町の町並み等々があります。まさに「モノ」ではなく「コト」消費が楽しめるエリアであり、「コト」消費を目的とする地域内周遊と消費拡大を図り、地域特性に根差した活性化を促進する必要があると思います。

具体的には、ジーンズの染染体験、塩づくり体験、備前焼体験などのワークショップが出来る多目的コーナーや児島地区の「歴史、文化」を紹介する展示コーナー、児島エリアの観光スポットを紹介する観光案内所を計画します。

また、この児島地域は、製塩業で一代をなした野崎家が、昭和20年代から新たに開発した「流下式塩田法」の全国的展開の基礎を作り、広大な海岸線の原風景と言われました。

今回この「流下式塩田法」を建築デザインのモチーフとして、集成材とCLT材で架構を組み、枝の代わりに地元で採れる「い草」をカーテン状にする、雨水マスや池から湯水した水を落下させながら自然の通風が得られる環境建築へ応用します。

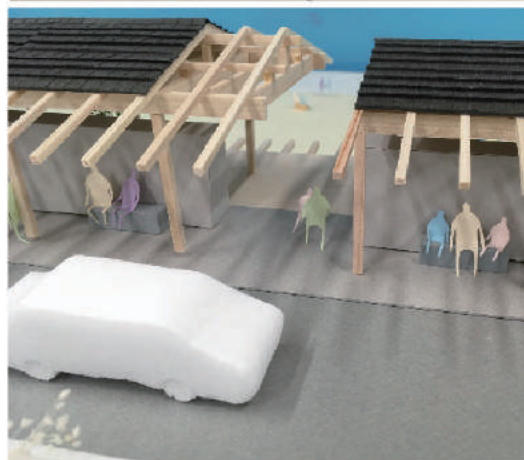
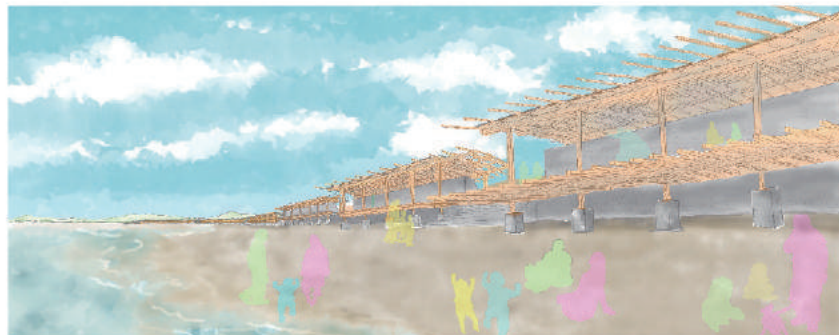
また、建物全体の配置計画は、もともと「吉備の六海」と呼ばれる瀬戸内海の群島をイメージして配置しました。



美しい過去になる

～暮らしと海を繋げる防潮堤の提案～

麻生建築&デザイン専門学校
建築士専攻科 大学併修コース
山本佳明



ほのかに香り、徐々に聞こえてくる。柔らかな空気に包まれ、穏やかな景色が広がる。ここは海だ。海に行くまでに、人は多くの海の要素を五感で感じる。海までの空間の変化は、海が作り出す空間のグラデーションである。その空間のグラデーションを断ち切ってしまうのが防潮堤である。空間が断ち切れ、かつての人々の海と繋がりのある暮らしも断ち切られてしまった。災害から暮らしを守ってきた防潮堤は、本当の意味で人々の暮らしと海のためのものだろうか？町から海へ向かう「町のグラデーション」を生み出す防潮堤を創造し、人々と海の繋がりのある暮らしを再構築する。

みんなの庭

～地域を温め続け繋いでくれる～

中央工学校 OSAKA
住宅デザイン科
川北優菜



昔はたくさんの方が集まり、
地域の方々の会話や子供の笑い声で溢れていた「大日公園」。
キラキラして見えていた公園ですが、
気づけば通路のようになり増えるのは雑草ばかりでした。

ですが、この大日公園では年に一度の夏祭りが行われます。
その夏祭りの日になると静まり返っていた公園が姿を変えます。
たくさんの地域の方が集まり笑いあう。
そんな昔のような暖かい公園の日常をもう一度見たい。
この一つの想いからこの大日公園のリノベーションが始まりました。

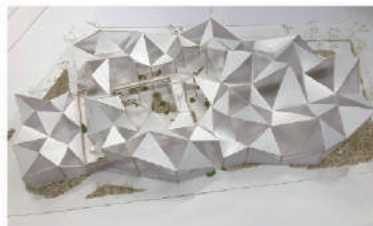
大日公園は、何かがあればたくさんの地域の方が集まる場所です。
だからこそみんなが集まり笑いあう。
そんな公園の日常の提案を致します。

きっと大日公園は地域を温め続け、繋いでくれる。

通路として使われていた公園を
思わず長居してしまう「みんなの庭」のような場所へ。

みんなとつなぐ モスク・文化センター

修成建設専門学校
建築学科
SYELLI NAZARIA DEVI



モスクはイスラム教の礼拝堂のことです。
イスラム教の人「ムスリム」はもちろん、
イスラム教ではない人も、
子供から年配の方まで宗教や立場関係など関係なく、
だれでも、いつでも入ることができます。
毎年日本に住んでいるムスリムの人口やムスリム観光客など
が増えています。
逆に、日本にあるモスクはまだ少ないです。

大阪ではすべてに2つのモスクがあります。
ただ礼拝するだけではなく、いろんな活動があります。たとえ
ば、毎週の説教や、ラマダン、イドゥルフィトリなどたくさん
のムスリム人たちが集まって礼拝をします。
ただ、日本にあるモスクでは施設も敷地も小さい為、
様々な問題と地域への影響からイスラム教の間違った理解へ
と繋がっていると考えています。



その問題から、この建物はイスラム教の礼拝する場所のため
だけでなく、勉強、見学、観光として、
日本人に正しいイスラム教のことを発信し、
国際交流やいろんな社会活動も行うことを目的とします。
建物は、自然環境とつなげて、だれでも入りやすく考えて、
森に入るような空間を作りたいと考えました。

森のように柱はランダムに、高さもバラバラに配置しました。
中に入るとたくさん梁があって、木の枝のようです。
内部と外部をつなぎ、両方を感じることができます。
差別なく、一般の人も自由に活動ができるようにしました。柱
の数は99本あります。Qur'an(イスラムの聖典)に書いてある
神様の名と同じ数99名です。

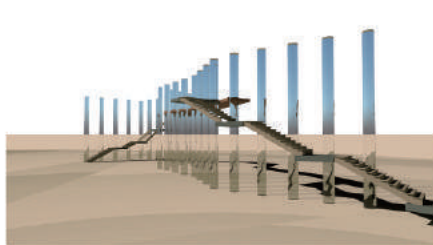


また一つ建物の中に色々な活動ができるためにカフェ、
図書室、広場などを設計しました。
みんなが自由に利用でき、たくさんの人と交流もできます。
1つの出入口と他の出入口はすべてにつなげているので自由
に出入ることができます。
通るだけの一般の方でも自由に通ることができ、
通るのうちに広場を楽しむこともできると設計しました。
2階には回りデッキと梅北2期に向かってのデッキテラスと
計画しました。
この施設が日本人とムスリムたちとの良い関係を確立する
ことができるように目指しています。

洗心の旅

大阪工業技術専門学校
建築設計学科
庄文婷

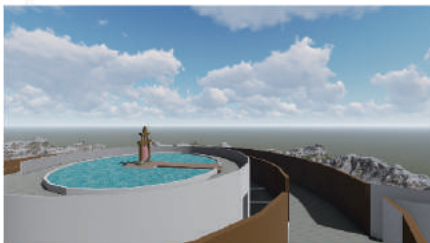
近年の母国中国が経済発展は目覚ましいものがあるが、人々のライフスタイルは大きく変化し豊かさ引き換えに精神は疲弊し人間味が喪失しているように感じる。旅は日常からの非日常へいざなうものであるが、それすらも経済システムの中に取り込まれてしまっている。日常を離れ、自分自身の心と自然と向き合うための場所を取り戻さなければならぬ。それが「洗心の旅」の目的である。中国青海省の湖のある山深い場所に、人文や自然風情を感じられるよう、人々が忙しい歩調をゆっくりさせて心を整え、周りの景色をきちんと体験できるような場所を提案する。計画は、①星雨階 ②雲夢台 ③水月間（宿泊施設）からなり、「洗心の旅」が本当の意味で行えるように細部まで計画している。



星雨階

「凡塵未落星雨階」

世の中に落ちて来る星や雨に些細な願望でも託されているでしょう



雲夢台

「對月独弦雲夢台」

世界がどれだけ精彩でも、時々独りの世界で考え直すことも大事



水月間

「梵欄曉語水月間」

プライベート時間、水音などを聞きながら、月光を楽しんで過ごす



水月間

宿泊施設としての機能を備え、「洗心の旅」の拠点となる

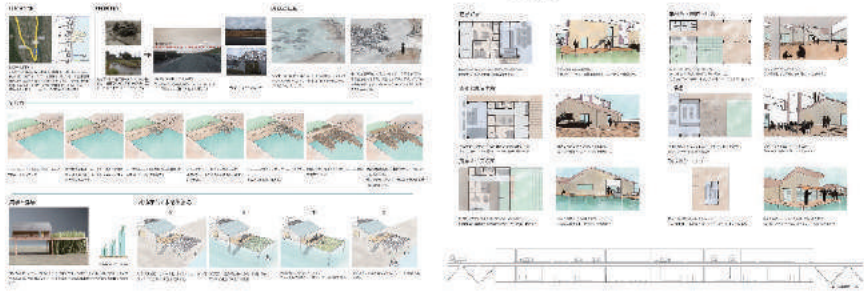
輪住物語

～自然に呼応する暮らしの提案～

東海工業専門学校金山校
建築工学科
大石啓明



頻発する洪水を目の前に、人々は高い堤防で土地を囲み、川と暮らしを断絶することで水の恐怖に対抗してきた。しかし、本来洪水は土壌を豊かにし、暮らしに恵みを与えるポジティブなものであった。人々は水との終わらない戦いを選択し、さらに高く、さらに強く堤防を整備し、それにより自身の伝統と魅力を失いつつある。「輪住物語」はありのままの自然を受け入れる暮らしである。川の水位変化に合わせて生活も生業も変える。水があふれば高台に避難し、家や土地よりも命だけは守る。水が引けば、流れ着いた漂着物で家を立て直し、運ばれてきた養分豊かな土に、再び種をまく。デッキ下はうるおい、また新たな生態系が生まれ、人々はそれを利用する。そんな「輪住物語」は、洪水をポジティブに受け入れ、水と共存する暮らしの提案である。



新潟に住む家

～感じる家 繋がる家～

新潟工科大学
建築デザイン科
矢口未波

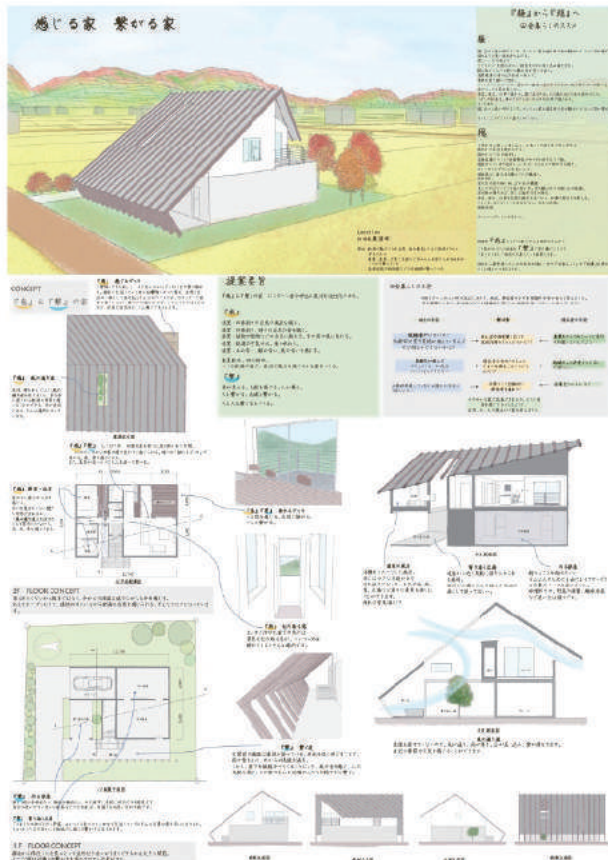
今回の課題「新潟に魅力を感じる住まい」に取り組むにあたり新潟の「魅力」とは何かと考えました。私の考える新潟の魅力とは「自然が豊か」「人が暖かい」ことです。

「トーン着（都会から田舎に移り住む人）呼び込むことで、新潟の活性化、人口増加に繋がると考えました。新潟の魅力は「自然」「人」とした時にどうすればその魅力を最大限に感じる事が出来るでしょうか。

「自然」としての魅力は、五感を使い一年中いつでも風や天気などを身近に感じられる家にする事。「人」としての魅力は、姿が見え、気配を感じ、人が集う、そんな人と人、地域を繋ぐ家にする事で、新潟の魅力を最大限に感じる事が出来ると思いました。

家には「感じる」「繋がる」ための工夫を所々に散りばめました。家の間に風の通り道を設け、風による自然の香りを「嗅覚」として、そよ風が鳴らす風鈴の音を「聴覚」として楽しみ、デッキでは「触覚」として降り注ぐ「雨」や降り積もる「雪」などの自然に触れる事が出来るようになっています。

この作品の制作に当たりとても楽しく家を考える事が出来ました。どうすればより良い家になるのか、住んでみたいと思える家になるのか、何度も試行錯誤を繰り返しました。完全に納得のいく作品に仕上がっている訳ではないので、さらにより良い設計が出来るよう頑張りたいと思います。



商業施設のあり方

～これからの商空間設計～

浅野工学専門学校
建築工学科
ペロカルマリオ

これからの設計に求められるのは、狭小地での設計だと思う。

都心部では建物が密集されているため、狭小地を活用することが重要になるのではないかと。

今回の卒業設計では、狭小地での商空間設計を検討してみました。

また、売り手と買い手の両者のニーズに合わせた付加価値をつけた新しい商空間設計を目指した。

商空間に必要な最小寸法からコンテナを導き出し、商業施設を構成することとした。

この商業施設は狭小な敷地の中でも、運営が可能であり、組み合わせによって多様な変化を可能にしている。

また、内部構成も組み合わせによって、拡大縮小が容易である。

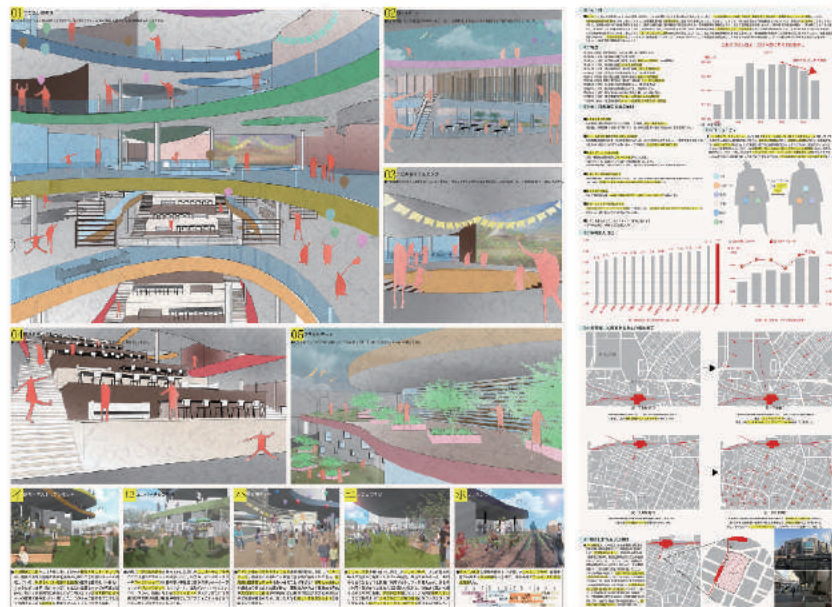
一部を組み替えることでコンテナのまま店舗の移動が可能である。

廃コンテナを利用することで、環境にも考慮した。

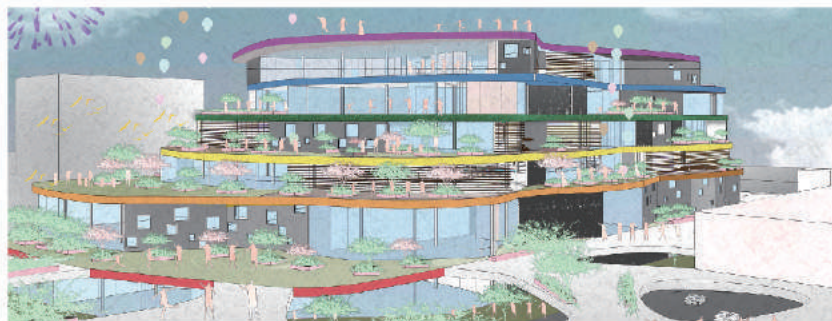
塗装はそのままに利用することで、コンテナ独特の雰囲気を残した。

IMAGE OF THE PASS

日本工学院八王子専門学校
建築学科
川崎大樹・佐々木裕二郎・横田雄大

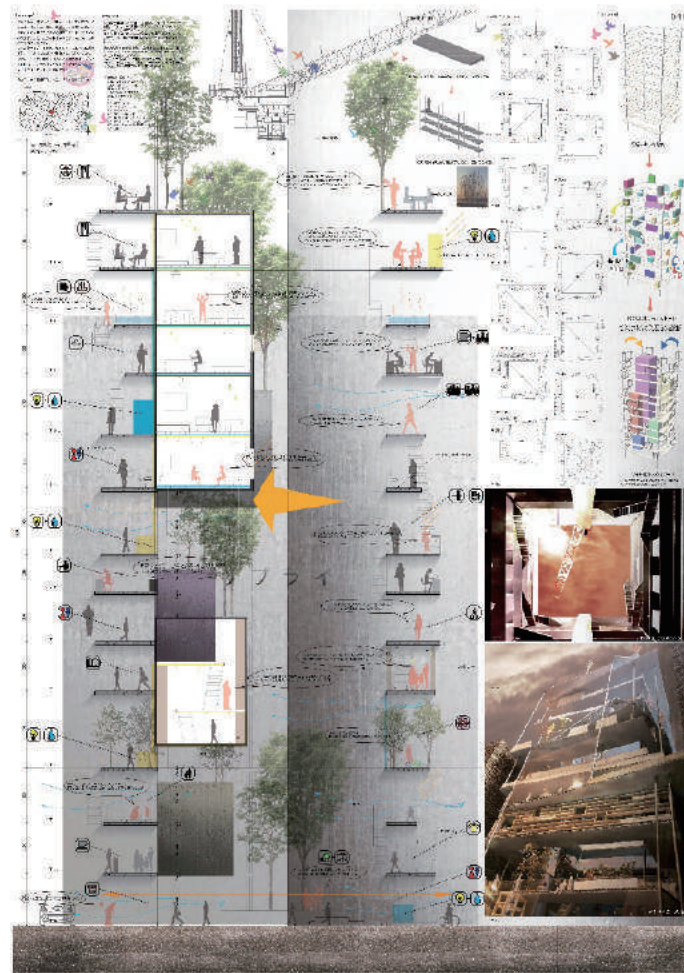


計画敷地とした立川駅周辺は、北口側は大型施設の建設が次々と進み、地元民が集まる駅周辺から多種多様な人々が目的を持ち集まる場所へと変化しています。駅北口側へ向かう人の流れが生まれる事に反して南口側は人の流れの通過点となっていることや、住宅街から発展した地域性などがあり、ヒューマンスケールのポテンシャルを持つ土地です。将来的に人口減少、経済成長に左右される事が見込まれている為、人と人、コミュニティ同士をパスで繋ぎ、新しい出会いなどが生まれる事で問題の解決につなぐ建築を南口側に提案します。現在、スマートフォンなどの普及によりWebの世界が加速しています。多くのコンテンツが繋がり結びついており自分で調べて情報を得たり、関連した情報に出会ったり、意識していなかった情報に出会う事があります。この仮想空間に身を置いている状況と同等に現実空間でもWebの世界が体験できる建築を目指し本計画案ではシークエンス、距離感、視線をパスとしてつなぐ要素として多くのコンテンツ(プログラム)を設けて、Web世界の実現の他、多種多様な人々を許容できる建築を提案します。



サプライ

日本工学院専門学校
建築設計科
小島佑樹



「サプライ」: 必要に応じて物を与えること。供給。支給。補給。

新しい建築には、電気・上下水道などのインフラ設備が不可欠であり、メイン空間以外には通路や階段・EVなどの動線が必要となる。この建築はこれらの要素をリング化したスラブに収め積層させることにより、大きなヴォイドを出現させている。このヴォイドにその都度必要に応じて空間を与え、さらにインフラを供給していくものである。限定されたヴォイドは上部に設置されたタワークレーンにより日々変化し更新されていく。リング化したスラブはあたかも縁側空間のような機能を持ち、さまざまな要素を内包する緩衝空間としての役目を果たす。

建設地は東京八重洲口から徒歩7分、高層のビルが立ち並ぶオフィス街。最近では観光客も増え様々な人々が行き交う場所となっている。そんな地域に建つこのビルは周りの雑音を吸収し潤いを与えるオアシスとして機能し街のシンボルとなる。

埼玉スタジアム2002

～周辺地-活性化プロジェクト～

専門学校 東京テクニカルカレッジ
建築科
祖山卓也



さいたま市は、埼玉県南東部に位置する県庁所在地であり、
古くは中山道の宿場町として発達してきた。
現在は関東から北へ向かう新幹線を始め、
JR各線や私鉄線が結節する東日本の交通の要衝となっている。

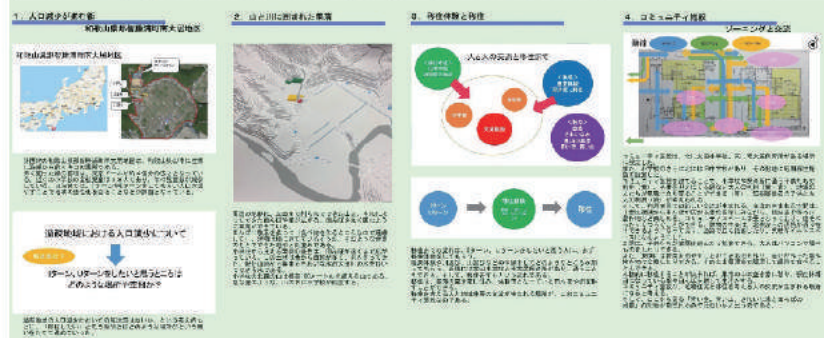
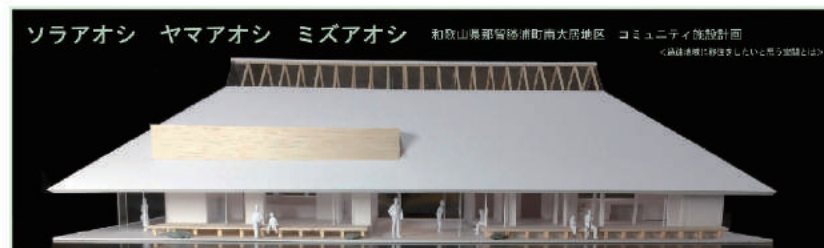
2015年の国勢調査では、
昼夜間人口比率は93.0%と東京都内への通勤・通学者を多く抱えるベッドタウンとなっていが、
埼玉県内からのさいたま市への通勤・通学者は1990年の16.8万人から増え続け、

県内から人を集める郊外核としての性質も併せ持つ。
その2面性を持つさいたま市を単なる通過点ではなく、
交流の場として人の集まる魅力ある都市を目指す。
浦和レッズの本拠地「埼玉スタジアム2002」を核として、
サッカーファンに対して歴史館・選手館。通勤・通学者に対して商業施設。
近隣住民に対して商業施設やポケットパーク。
属性の異なる者に、それぞれの場を提供し、「つなげ・まとめる」ことで、
建築的アプローチから地域の活性化に寄与し、魅力ある都市を目指す。

ソラアオシ ヤマアオシ ミズアオシ

～和歌山県那智勝浦町南大居地区 コミュニティ施設計画～

読売理工医療福祉専門学校
建築科
村上桃代



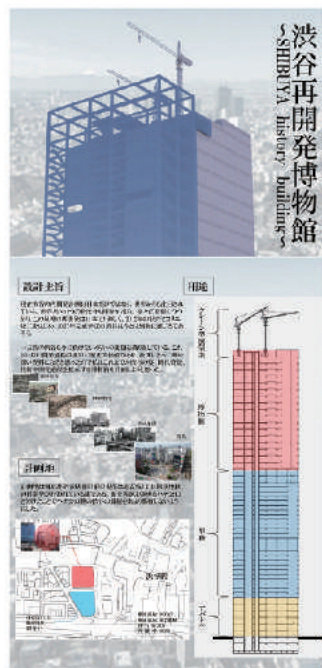
和歌山県那智勝浦町南大居地区に「移住を考える人と地域住民の交流が生まれる場所」として計画した、
コミュニティ施設である。

地区は年々児童数が減少している。自治体では、1タウンやUターンを推進し、
地域の活性化を図ることが課題となっている。
施設の1階は縁側から田んぼが広がる景色を楽しみながら、
調理室で作った農作物など楽しめる。
置敷きのコミュニティスペースは休憩スペース。
建物の中央には、通り抜け通路を設け、立ち話をしたり、気軽なイトスペースになる。
2階は、子供たちが放課後遊んだり勉強できる。
大人はパソコンで調べものをしたりできる。
外部では自分が作った農作物を物々交換したり、
そのまま調理室で調理し、縁側で食べることもできる。
利用者は、この施設から見る「青い空、青い山、きれいな水と田んぼの風景」の記憶が
刻まれるのではないかと思うのである。

渋谷再開発博物館

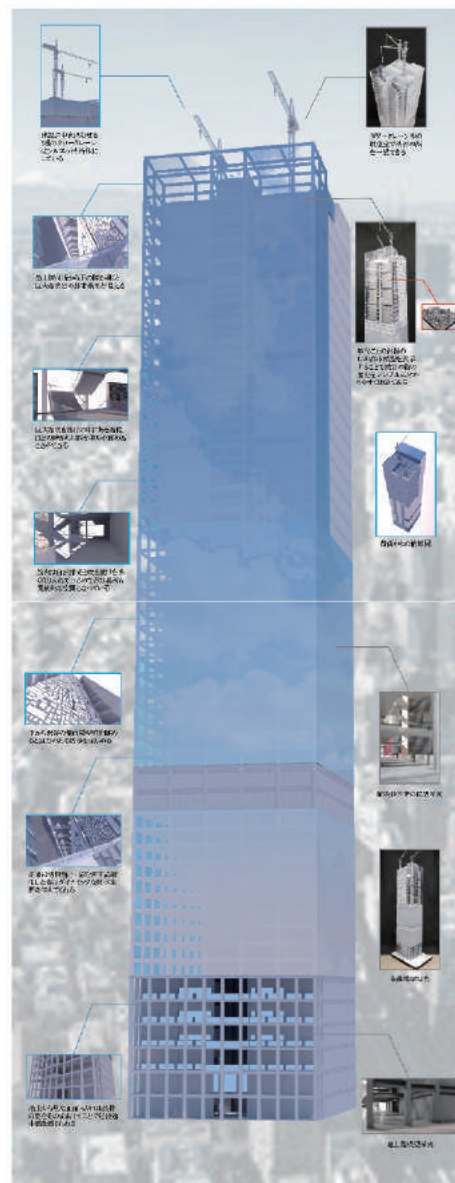
~SHIBUYA history building~

青山製図専門学校
建築工学科
山本健太



現在渋谷の再開発計画は日本だけではなく、世界からも注目されている。渋谷は日々開発が進み、徐々に変貌しつつある。この規模の再開発は日本でも珍しく、2012年の渋谷ヒカリエ竣工をはじめ、2027年完成予定の渋谷は今とは別物に感じるであろう。一方昔の渋谷も今に負けないくらいの変貌を繰り返している。これらの長い歴史と開発過程は非常に歴史的価値があり、後世にとって興味深い資料になると考えたので私はこれまでの渋谷の姿や時代背景、技術や開発過程を展示する博物館を計画しようと思った。この歴史資料を渋谷にいる多くの人々に興味を持ってほしく、渋谷を遊ぶ場所だけでなく、学ぶ場としても機能させたい。

現在(2019年)は開発途中だからその中この建設途中デザインのタワーがあっても違和感はないのかもしれないが、いずれ完成した渋谷の街の中に未完のタワーがあることでその時にこの建物はデザインと中身の真価を発揮するであろう。



cascade

中央工学校
建築工学科(設計専攻)
郡司 葵



埼玉県入間市の豊岡地区は市内でも特に住宅が多く、学校や商業施設も徒歩圏内にあり大変住みやすいが、時代と共に高齢化が進み衰退してきているのが現状である。そこで、郊外ならではの自然の多さや地域との密接な関わりを活かし、市民の定住、他の地域からの移住のどちらにも目を向け、子どもの育てやすさに配慮した街づくりを行う。まず、多目的ホールや図書館、保育施設、カフェ、ショップなどを敷地に散りばめ、2階レベルのデッキで各棟を繋げる。さらに、隣接する「彩の国公園」や「ジョンソンタウン」などに向かってデッキをのぼす。こうしてcascadeのように、入間市全体に活気のある新しい繋がりを作る。

TIMES TWIN TOWER

中央工学校
建築室内設計科
杉田里穂



お台場は、都内の「夜景聖地」と呼ばれている。高級マンションや大型ショッピングモールのバルコニー、橋、海辺などお台場にはこのように夜景スポットが沢山ある。

しかし、気軽に一人で宿泊したり、気軽にくつろげる場所は少ない。そこでお台場という地に、進化形カプセルホテルを提案する。たまには特別な時間を味わいたいときがきつと誰にでもあと思う。そんな時、このカプセルホテルに来れば、一人の時間を有意義に過ごせる。このカプセルホテルによって、お台場は一人でも気軽に行く場所、という新しい形に変化していこう。

AcroViVi

〜かわるもの-かわらないもの〜

筑波研究学園専門学校
建築環境学科 建築設計デザインコース
白善美・木名瀬麻衣

茨城県の常陸大宮市西塩子地区には、古くから伝承されている日本最古の組立式回り舞台が存在します。約200年前から神社への奉納として回り舞台を利用した歌舞伎を行っていましたが、現在は開催場所や役割などが変化し、本来の意味が薄くなりました。更に、人手不足による組立困難など現状を知り、今後の継承のためにさらなる変化、発展が必要とされると考え、計画しました。

デザインコンセプトは、市木でもあり、日本人の美意識を育て、心を表す「桜」とし、施設計画では、学ぶ・感じる・実感するという3つの観点を軸とし、それぞれの計画で歌舞伎を連想させる要素を取り込みました。あらゆる分野にとって大きなテーマである「継承と創造」。時代と共に形は変わっても本質は変わらないで欲しいという願いを込め計画しました。今一度、皆さんも伝承の在り方について考えてみてはいかがでしょうか。

纏い

〜やどかり暮らし〜

国際情報工科大学
建築CAD設計科
阿部しずく

私の故郷「山形県鮭川村」で唯一死亡事故が起きる「雪」について考えました。

毎年2.5mの雪壁が住人の生活を苦しめています。高齢者が住む家の除雪作業は、まんべんなく行われず自分で雪かきを行うことにより雪に巻き込まれ亡くなる事故が年々増えています。冬は危険が多く外に出る機会がほとんどないため、他の季節に比べるとコミュニケーションの場が一気に減ってしまいます。

雪を「害」と思わず「共存」を目指し暮らししていくうえで「安全」と「楽」を実現したいと思い設計へ取り組みました。そこで、季節を通して人々に活用され、住民が住処を変える場所を提案します。

冬以外の季節では、他地域から鮭川村を訪れる人々や学校関係で活用する施設として利用し、地元の活性化につなげ、冬になると雪かきが困難な高齢者の住処として利用し、雪害を考えずに安心して住み、コミュニティの閉鎖をなくして雪と共存する暮らしを考えました。

軒をGLまで伸ばし大きな屋根を作り、雪を最大限に積もらせることで除雪の手間を少なくし除雪の「楽」を作り、勾配の緩やかな屋根に上っても「安全」を作りました。

内部空間は、夏には全体的に開口部や出入口を開けて開放的にすることで自然を感じ周辺との繋がりを大切に、冬は雪や寒さを防ぐため出入口を閉めて建物全体を内部空間とすることで、雪を気にせず隣人とのコミュニティを夏同様に行えます。住居スペースには村の昔ながらの間取りを用いて過ごしやすい環境にしました。共同スペースを設けることによりコミュニティの新たな繋がりを作ることができます。

第19回 ポスターデザインコンテスト審査会

「第19回 専門学校卒業作品展示会」のポスターコンテスト審査会 開催報告

■審査日

2019年3月22日(金)

■会場校

専門学校東京テクニカルカレッジ

■審査員

全国専門学校建築教育連絡協議会
作品展示会運営委員会(会員校 教員)

■応募作品数

72作品

■応募校

9校
筑波研究学園専門学校 中央工学校
青山製図専門学校 読売理工医療福祉専門学校
専門学校東京テクニカルカレッジ 日本工学院専門学校
日本工学院八王子専門学校 修成建設専門学校
東海工業専門学校金山校



審査会の様子

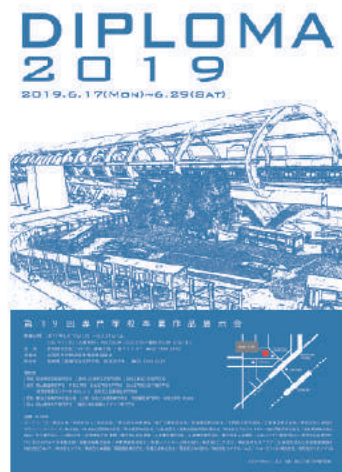


審査会の様子



審査員一同

■審査結果・受賞作品一覧



最優秀賞

井上 巧貴 さん
(日本工学院八王子専門学校)



優秀賞

阿部 友樹 さん
(中央工学校)



入賞

川崎 大樹 さん
(日本工学院八王子専門学校)



優秀賞

佐藤 優希 さん
(中央工学校)



入賞

高袋 周優 さん
(日本工学院八王子専門学校)

定例総会、教育活動報告・勉強会

2019年度(令和元年度) 定例総会、教育活動報告・勉強会 開催報告

■日時

2019年6月15日(土)
13:00~18:30

■会場校

中央工学校

■内容

1. 定例総会
前年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画(案)、予算(案)、役員改選(案) 他
2. 教育活動報告・勉強会
—情報提供・勉強会—
講演者:公益財団法人 建築技術教育普及センター
テーマ:建築士法の一部改正について
—教育活動報告会—
発表校:東海工業専門学校金山校
テーマ:大工技術科の実習への取り組み
発表校:広島工業大学専門学校
テーマ:産学連携授業の取り組みについて
3. 会場校施設見学
4. 情報交換・懇親会



会員校一覧

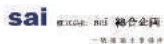
学校名	所在地
日本工学院北海道専門学校	〒059-8601 北海道登別市札内町184-3
国際情報工科大学	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-15
筑波研究学園専門学校	〒300-0811 茨城県土浦市上高津1601
中央工学校	〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17
青山製図専門学校	〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-9
純光理工医療福祉専門学校	〒108-0014 東京都港区芝5-26-16
専門学校東京テクニカルカレッジ	〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3
東京工学院専門学校	〒184-8543 東京都小金井市前原町5-1-29
町田・デザイン専門学校	〒194-0022 東京都町田市森野1-27-18
日本工学院専門学校	〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
浅野工学専門学校	〒221-0012 神奈川県横浜市神奈川区子安台1-3-1
新潟工科大学	〒950-0932 新潟県新潟市中央区長潟2-1-4
伝統文化と環境福祉の専門学校	〒952-1209 新潟県佐渡市千種丙202-1
日本建築専門学校	〒418-0103 静岡県富士宮市上井出2730-5
東海工業専門学校金山校	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-7-19
京都建築大学校	〒622-0041 京都府南丹市園部町二本松1-17
大阪工業技術専門学校	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1-8-24
大阪建設専門学校	〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町3
修成建設専門学校	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30
中央工学校OSAKA	〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-1-43
日本工科大学校	〒672-8001 兵庫県姫路市兼田383-22
岡山科学技術専門学校	〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8-10
岡山理科大学専門学校	〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
広島工業大学専門学校	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1
麻生建築&デザイン専門学校	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13
福岡建設専門学校	〒811-0053 福岡県福岡市東区箱崎6-15-34
専修学校サイ・テク・カレッジ	〒904-0115 沖縄県北谷町美浜1-5-16

協賛

企業・団体名	所在地
㈱イトーキ	〒103-6113 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
エーアンドエー㈱	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15
(株)Isai 総合企画	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7-7 白揚第二ビル3階
㈱大塚商会	〒553-8558 大阪府大阪市福島区福島6-14-1 大塚梅田ビル7階
金子工業㈱	〒509-2517 岐阜県下呂市萩原町萩原1500
菊池建設㈱	〒118-0001 東京都西東京市谷戸町3-17-6
技研施工㈱	〒107-0062 東京都港区南青山7-3-1
工藤建設㈱	〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10
㈱久米設計	〒135-8567 東京都江東区潮見2-1-22
グラフィソフトジャパン㈱	〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-12 赤坂ノアビル4階
㈱国際総合計画	〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山2-7-3 1Pケヤキビル5階
清水建設㈱	〒104-8370 東京都中央区京橋2-16-1
(公社)商業施設技術団体連合会	〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館4階
㈱スタジオNAO	〒160-0011 東京都新宿区若葉区2-9-8 四谷F&Tビル202
住友不動産㈱	〒163-0819 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
成友興業㈱	〒197-0802 東京都あきる野市草花1141-1
積水ハウス㈱	〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト
(一社)全国建築CAD連盟	〒461-0008 愛知県名古屋市中区武平町5-1 名古屋栄ビルディング7階
㈱総合資格	〒163-0557 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル3階
大東建設㈱	〒108-8211 東京都港区南二丁目16-1 品川イーストワンタワー24階
大豊建設㈱	〒104-8289 東京都中央区新川11-24-4
㈱大栄建設	〒901-0145 沖縄県那覇市高良3-1-1
大和ハウス工業㈱	〒530-8241 大阪府大阪市北区梅田3-3-5
㈱丹青TDC	〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦2階
TTC㈱ タケダ事業本部	〒132-0034 東京都江戸川区小岩山13-4-1 エクセルビル3階
徳倉建設㈱	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-13-5
中野建設㈱	〒105-0014 東京都港区芝3-42-9 中野第一ビル
西尾レントオール㈱	〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-11-17
㈱ニチボウ	〒141-0022 東京都品川区東五反田11-9-5
㈱日本アーク	〒108-0075 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル20階
(公社)日本建築積算協会	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル3階
㈱日本HP	〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1
㈱フジタ	〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
㈱本間組	〒951-8650 新潟県新潟市中央区西湊町通三ノ町3300-3
馬淵建設㈱	〒232-8858 神奈川県横浜市南区花之木町2-26
武蔵工業㈱	〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3
明治化工(株)	〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センター センタービル3階
㈱ヤマダホームズ	〒370-0841 群馬県高崎市茶町1-1
リコージャパン㈱	〒104-0045 東京都中央区日本橋小網町19-5 akebono日本橋ビル
㈱リビングCG	〒107-0052 東京都港区赤坂7-3-37 プレースカナダ1階
リビングデザインセンターOZONE	〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー3~7階

五十音順











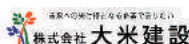





























発行日 2019年7月31日
 発行元 全国専門学校建築教育連絡協議会
<http://zensenkenkyo.jp/>

事務局 日本工学院八王子専門学校
 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
 TEL:042-637-3111(代) FAX:042-637-3112